

日本消化器病学会東海支部第144回例会

第 55 回 教 育 講 演 会

プログラム抄録集

会 長 佐野 仁
(豊川市民病院)

日 時 2026年 6 月20日 (土) 午前 9 時より

会 場 ウインクあいち
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38
TEL (052) 571-6131

参加受付	9 F	908会議室
P C 受付	9 F	907会議室
第 1 会場	9 F	901会議室
第 2 会場	9 F	902会議室
第 3 会場	10F	1001会議室
第 4 会場	10F	1002会議室
幹 事 会	9 F	903会議室

(附 第139回市民公開講座プログラム)

2026年 6 月21日 (日)

豊川市民病院

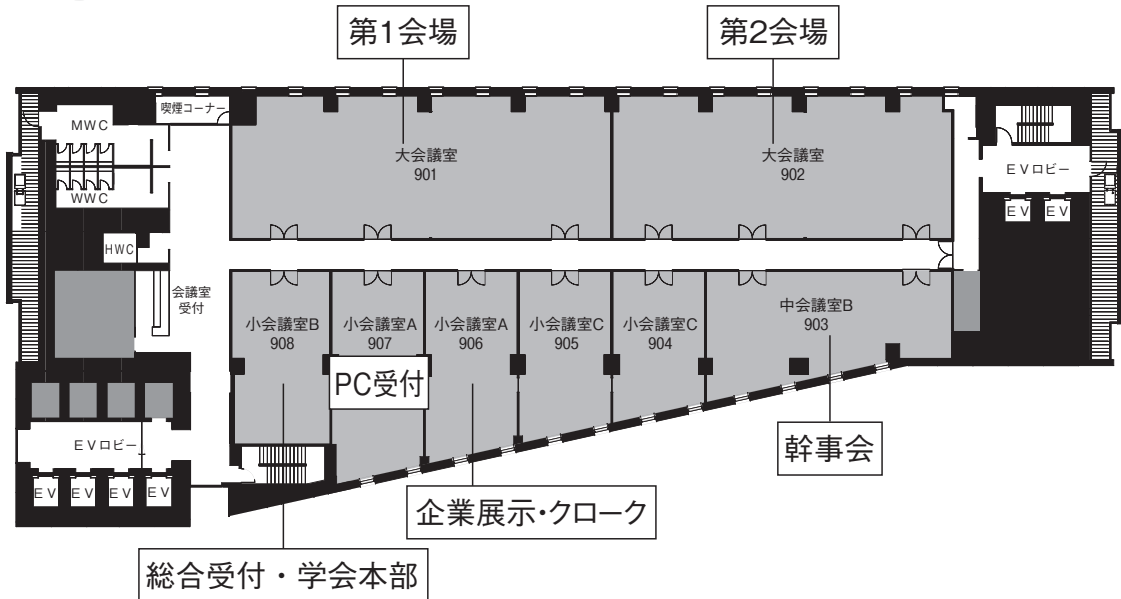
交通のご案内



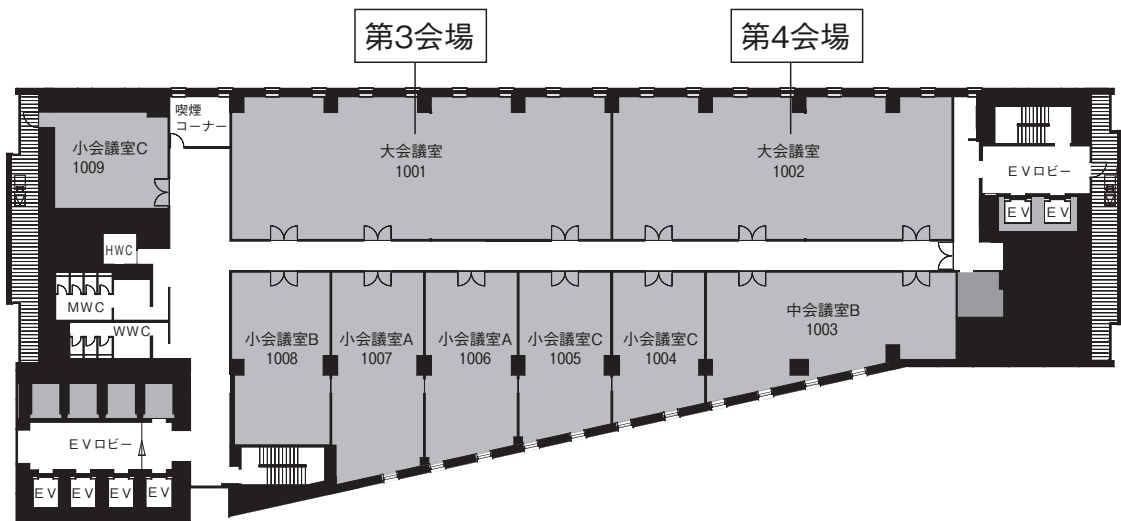
※有料駐車場がございますが、台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
※駐車場等の割引はございません。

会場のご案内

9F



10F



プログラム&会場早見表

	第1会場 9 F 901	第2会場 9 F 902	第3会場 10F 1001	第4会場 10F 1002	幹事会 9 F 903
09:00	開会の辞	09:00-10:30 シンポジウム1	09:00-09:35 胃・十二指腸①	09:00-09:42 大腸①	
09:30	09:00-10:00 教育講演1 【上部消化管】 司会：神田光郎 講師：小川 了	『消化管疾患の診断・治療 —現状と今後への多面的アプローチ—』 司会：大北喜基 西江裕忠	09:35-10:10 胃・十二指腸②	09:42-10:17 大腸②	
10:00	10:00-11:00 教育講演2		10:10-10:45 肝①	10:17-10:52 食道・その他	
10:30	10:00-11:00 教育講演2 【下部消化管】 司会：中村正直 講師：鎌野俊彰		10:45-11:20 肝②		
11:00		10:30-11:05 小腸			
11:30	11:20-12:20 専門医セミナー 『胆道癌の診断と治療』	11:20-12:20 東海支部 キャリア支援の会 『勧誘と教育』	11:30-12:20 スポンサードセミナー1 座長：杉本 健 演者：長坂光夫	11:30-12:20 スポンサードセミナー2 座長：中村正直 演者：山村健史	10:30-11:30 幹事会
12:00					
12:30		12:30-13:20 ランチョンセミナー1 座長：川嶋啓揮 演者：大野栄三郎	12:30-13:20 ランチョンセミナー2 座長：堀木紀行 演者：山口純治	12:30-13:20 ランチョンセミナー3 座長：山村健史 演者：服部峻、澤田つな 騎	
13:00					
13:30					
14:00	13:30-14:30 評議員会	13:30-14:30 評議員会（中継）	13:30-14:20 アフタヌーンセミナー1 座長：瀧口修司 演者：佐川弘之	13:30-14:20 アフタヌーンセミナー2 座長：長坂光夫 演者：仲瀬裕志	
14:30					
15:00	14:40-15:40 教育講演3 【肝臓】 司会：伊藤清顕 講師：本多 隆	14:40-16:50 シンポジウム2	14:30-15:20 スポンサードセミナー3 座長：川田一仁 演者：今井則博	14:30-15:20 スポンサードセミナー4 座長：豊田秀徳 演者：葛谷貞二	
15:30		『肝胆脾疾患の診断・治療 —現状と今後への多面的アプローチ—』 司会：堀 寧 渡辺伸元	15:30-16:12 胆①	15:30-16:12 脾①	
16:00	15:40-16:40 教育講演4 【胆膵】 司会：村田泰洋 講師：森田剛文		16:12-16:54 胆②	16:12-16:54 脾②	
16:30					
17:00		閉会の辞			
17:30					

お知らせ・お願い

■ご参加の皆様へ

- ・本会は会場での現地開催となります。配信はございません。
- ・参加受付は 8 : 30頃より開始予定です。

■支部例会のご案内

参加費：会員 1,000円（不課税）
非会員 1,100円（課税・消費税10%込）

参加費と引換えにネームカード（参加証明書 兼 領収証）と抄録集をお渡しいたします。
専門医更新単位は 5 単位です。

■教育講演会のご案内

- ・参加費：会員 1,000円（不課税）
非会員 1,100円（課税・消費税10%込）
※教育講演会のみ参加は不可、支部例会の参加登録が必須です。
半日参加、全日参加にかかわらず一律料金です。
- ・参加費と引換えにネームカード（兼 領収証）をお渡しいたします。
※受付時にお渡しするネームカードは参加証ではありません。
参加証は午前・午後に分けて会場にて配布いたします。
参加証の発行には、午前の部・午後の部それぞれの講演を聴講し、かつ講演毎に出題されるセルフトレーニング問題への回答が必要です。
- ・専門医更新単位は午前 9 単位、午後 9 単位です。

■専門医セミナーのご案内

参加費：無料 ※支部例会の参加登録が必須
参加をされる場合は、支部例会の参加登録をしたうえで直接講演会場へお越しください。
参加証は専門医セミナー開催時間帯に会場にて配布いたします。

■評議員会のご案内

日時：令和 8 年 6 月 20 日（土）13 : 30～14 : 30
会場：9 階 901会議室（第 1 会場）
※昼食のご用意はございません。ランチョンセミナー等でお取りください。

■演者・座長へのご案内

持ち時間：シンポジウム①	口演 7 分	質疑応答 3 分	総合討論なし
シンポジウム②	口演 7 分	質疑応答 3 分	総合討論なし
一般演題	口演 5 分	質疑応答 2 分	

《シンポジウム司会・一般演題座長の先生方へ》

ご担当セッションの開始20分前までに「演者座長受付（9階 908会議室）」へお立ち寄りください。

《シンポジウム演者・一般演題演者の先生方へ》

- ・「演者座長受付（9階 908会議室）」にてご到着をお知らせいただき、ご発表セッションの開始30分前までに「PC 受付（907会議室）」にてデータ受付をお願いいたします。
- ・スライド枚数に制限はありませんが発表時間を厳守してください。
- ・発表方法については次頁の「発表要領」をご確認ください。

■単位登録についてのご案内

専門医更新単位は学会ホームページよりご登録いただく方式となります。

学会 Web サイトの「パーソナルページ」→「学術集会参加登録」より、支部例会・教育講演会・専門医セミナーの各参加証に記載されている番号（15桁）にて各自登録をお願いいたします。
（支部例会：5単位、教育講演会：午前9単位・午後9単位、専門医セミナー：3単位）

発表要領

■ご発表について

- ・現地会場でのコンピュータープレゼンテーションといたします。
演台に備え付けのマウス等を使用し、発表者ご自身にて進めてください。
オンライン発表には対応していません。
- ・発表データの受付は、原則として USB フラッシュメモリといたします。
動画がある場合は、バックアップとして動画ファイルの入った PC をご持参ください。

■発表用データ作成上の留意点

《データ持ち込みによるご発表》

1. 事務局にて用意する PC は Windows、プレゼンテーションソフトは PowerPoint です。
2. メディアの持ち込みは Windows 版 PowerPoint で作成されたデータのみといたします。
(フォントは PowerPoint に標準搭載されているものをご使用ください。)
3. Mac で作成したデータは Windows 上で位置のずれや文字化け等の不具合が生じる場合が多いため、本体持ち込みを推奨いたします。
データ持ち込みの場合は、各自 Windows 上での作動確認と、Windows 用にデータ変換を行った上でのご用意をお願いいたします。
4. 静止画・動画・グラフ等のデータをリンクさせている場合は必ず元のデータも一緒に保存し、作成に使用した PC 以外の Windows PC にて事前に動作確認をお願いいたします。
5. 液晶プロジェクターの出力解像度はフル HD (1920×1080、16:9) に対応しております。
6. 音声出力は使用できません。
7. 発表者ツールはご使用になれません。

《PC 持ち込みによるご発表》

1. 必ず付属の AC アダプターをご持参ください。
2. 液晶プロジェクターとの接続は、事務局では HDMI ケーブルをご用意いたします。
事前に持ち込むデバイスをご確認の上、変換アダプターが必要な場合は必ずご持参ください。
3. 発表中にスクリーンセーバーや省電力機能で電源が切れないよう事前に設定をご確認ください。
4. 音声出力は使用できません。
5. 発表者ツールはご使用になれません。

《その他留意事項》

1. データを保存する前に必ずウイルスチェックを行ってください。
2. 発表セッションの開始30分前までにデータ受付を済ませてください。
(可能な限り早めに受付にお越しください。)
3. 申告すべき COI 状態の有無にかかわらず発表スライドの最初 (またはタイトルスライドの次) に COI 状態の開示をお願いいたします。
詳細は、日本消化器病学会 Web サイトにてご確認ください。

シンポジウム・共催セミナーのご案内

シンポジウム 1 「消化管疾患の診断・治療—現状と今後への多面的アプローチ—」

会 場：第 2 会場

時 間：9：00～10：30

司 会：三重大学大学院医学系研究科 消化管・小児外科学 大北 喜基
名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院 消化器内科 西江 裕忠

シンポジウム 2 「肝胆膵疾患の診断・治療—現状と今後への多面的アプローチ—」

会 場：第 2 会場

時 間：14：40～16：50

司 会：名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 堀 寧
名古屋大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科 渡辺 伸元

ランチョンセミナー 1

会 場：第 2 会場

時 間：12：30～13：20

座 長：名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学 川嶋 啓揮
演 者：藤田医科大学 消化器内科学 大野栄三郎
「進行・再発胆道癌に対する薬物療法、がんゲノム検査の意義」

ランチョンセミナー 2

会 場：第 3 会場

時 間：12：30～13：20

座 長：三重大学医学部附属病院 消化器病センター 堀木 紀行
演 者：愛知医科大学 内科学講座 消化管内科 山口 純治
「潰瘍性大腸炎患者さんの病態把握と薬物治療
～ S1P 受容体調節薬の位置づけ～」

ランチョンセミナー 3

会 場：第 4 会場

時 間：12：30～13：20

座 長：名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部

山村 健史

演 者：公立陶生病院 消化器内科

服部 峻

「Multi-option 時代の UC 診療～顕在化する D2T-UC にどう挑むか～」

演 者：名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学

澤田つな騎

「クローン病小腸病変の Treat to target ～治療介入の意義～」

アフタヌーンセミナー 1

会 場：第 3 会場

時 間：13：30～14：20

座 長：名古屋市立大学 大学院医学研究科 消化器外科学

瀧口 修司

演 者：名古屋市立大学 大学院医学研究科 消化器外科学

佐川 弘之

「胃癌手術の最適化：ロボット手術と集学的治療の融合」

アフタヌーンセミナー 2

会 場：第 4 会場

時 間：13：30～14：20

座 長：藤田医科大学医学部 消化器内科学講座

長坂 光夫

演 者：札幌医科大学医学部 内科学講座 消化器内科学

仲瀬 裕志

「SlP receptor modulator の基礎と臨床」

スポンサードセミナー 1

会 場：第 3 会場

時 間：11：30～12：20

座 長：浜松医科大学 内科学第一講座、IBD センター

杉本 健

演 者：藤田医科大学医学部 消化器内科学講座

長坂 光夫

「潰瘍性大腸炎治療におけるベドリズマブのポジショニングを再考する」

スポンサードセミナー 2

会 場：第 4 会場

時 間：11：30～12：20

座 長：愛知医科大学 消化管内科

中村 正直

演 者：名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部

山村 健史

「クローン病治療における課題～深部小腸病変への治療効果の追求～」

スポンサードセミナー 3

会 場：第 3 会場

時 間：14：30～15：20

座 長：浜松医科大学 内科学第二講座

川田 一仁

演 者：名古屋大学大学院医学系研究科 オミックス医療科学

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科

今井 則博

「脂肪性肝疾患診療の新展開―肥満症治療と GLP-1 受容体作動薬の役割―」

スポンサードセミナー 4

会 場：第 4 会場

時 間：14：30～15：20

座 長：大垣市民病院

豊田 秀徳

演 者：藤田医科大学 消化器内科学

葛谷 貞二

「実臨床から考える肝細胞癌へのオプジーボ+ヤーボイの位置づけ
―安全かつ有効に投与する上での工夫―」

東海支部キャリア支援の会のご案内

会 場：第2会場

時 間：11：20～12：20

テーマ：『勧誘と教育』

司 会：三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科
豊川市民病院 消化器内科

山田 玲子
安部 快紀

「当院における勧誘と教育の一体化による人材育成戦略
—診療参加型実習とチーム教育の実践—」

演 者：岐阜県立多治見病院 消化器内科

加地 謙太

「新しい世代を知り、受け入れることから始める医学・医療教育
—指導医に求められるパラダイムシフト—」

演 者：名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学

鬼頭 佑輔

「「雰囲気が良い」とは何か

選ばれる診療科になるための勧誘と教育」

演 者：愛知医科大学 肝胆脾内科

北野 礼奈

第31回専門医セミナーのご案内

会 場：第1会場

時 間：11：20～12：20

テ ー マ：『胆道癌の診断と治療』

司 会：名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 消化器内科 林 香月

症例提示：名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 消化器内科 神野 成臣
「肝門部領域胆管癌に対して手術治療を施行した症例」

名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 羽根田賢一
「膵胆管合流異常症に合併した胆嚢癌」

討 論 者：愛知県がんセンター 消化器内科部

藤田医科大学 消化器内科学

愛知医科大学 消化器外科

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科

羽場 真

中岡 和徳

大澤 高陽

山雄健太郎

第55回教育講演会のご案内

会 場：第1会場

時 間：9：00～16：40

教育講演1 「ロボット支援下食道切除術の時代における食道癌治療」

司会：名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学

神田 光郎

講師：名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科学

小川 了

教育講演2 「クローン病の診断と治療」

司会：愛知医科大学 消化管内科

中村 正直

講師：藤田医科大学 消化器内科学

鎌野 俊彰

教育講演3 「慢性肝炎をどう診るか―予防から治療まで―」

司会：愛知医科大学 肝胆膵内科

伊藤 清顕

講師：名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学

本多 隆

教育講演4 「膵癌の集学的治療」

司会：三重大学大学院医学系研究科 肝胆膵・移植外科学

村田 泰洋

講師：浜松医科大学 外科学第二講座

森田 剛文

第139回市民公開講座のご案内

日 時：2026年6月21日（日） 14：00～16：00

会 場：豊川市民病院

司 会：豊川市民病院

佐野 仁

気になる おなかの病気と生活習慣のかかわり

「胃がんの診断と内視鏡治療について」

演者：名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 杉村 直美

「大腸がんと生活習慣～予防と早期発見のポイント」

演者：豊川市民病院 消化器内科 大西 浩史

「生活習慣と肝臓の病気」

演者：名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 成田幹誉人

「胆石症と膵炎～生活習慣との関わり」

演者：豊川市民病院 消化器内科 安部 快紀

シンポジウム プログラム

お断わり：原則的に講演者が入力したデータをそのまま掲載しておりますので、一部に施設名・演者名・用語等の表記不統一がございます。あらかじめご了承ください。

シンポジウム 1

「消化管疾患の診断・治療—現状と今後への多面的アプローチ—」

第 2 会場 9:00～10:30

司 会：三重大学大学院医学系研究科 消化管・小児外科学 大北 喜基
名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院 消化器内科 西江 裕忠

S1-01 日本人炎症性腸疾患関連疾患における、HLA-DQA1*5アレル保有割合と抗 TNF- α 抗体製剤の一次及び二次無効に関する単施設後方視的観察研究

¹名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学、

²地域医療機能推進機構 中京病院

○管野 琢也¹、尾関 啓司²、金岩 弘樹¹、宇野 好¹、丸谷 祐香¹、
志村 貴也¹、久保田 英嗣¹、片岡 洋望¹

S1-02 外来潰瘍性大腸炎患者における QOL に関連する因子の検討

岐阜大学医学部附属病院 第一内科

○増田 直也、大谷 毅一、谷口 裕紀、手塚 由佳里、小島 健太郎、大西 祥代、
高田 淳、久保田 全哉、井深 貴士、清水 雅仁

S1-03 当院で経験した好酸球性胃腸症18例の臨床的特徴の検討

岐阜県立多治見病院

○中畠 大樹、丹羽 佑介、山田 直晃、岡山 幸平、蓑輪 彬久、福定 繁紀、
加地 謙太、水島 隆史、奥村 文浩

S1-04 当院におけるベーチェット病の腸管病変とその臨床的特徴の検討

藤田医科大学 消化器内科学

○横山 忠弘、鎌野 俊彰、村島 健太郎、平山 裕、長坂 光夫、船坂 好平、
葛谷 貞二、宮原 良二、廣岡 芳樹、大野 栄三郎

S1-05 アミノピリン呼気試験を用いた酸分泌抑制剤（Esomeprazole と低用量 Vonoprazan）の肝薬物代謝への影響

¹浜松医科大学 第一内科、²浜松医療センター 消化器内科、

³浜松医科大学 光学医療診療部、⁴浜松医科大学 臨床検査医学

○高橋 悟¹、山出 美穂子¹、稲垣 圭佑¹、樋口 友洋²、石田 夏樹¹、山田 貴教³、
濱屋 寧¹、岩泉 守哉⁴、大澤 恵³、杉本 健¹

S1-06 酢酸亜鉛水和物起因性胃粘膜障害の検討

岐阜県総合医療センター 消化器内科

○小澤 範高、山崎 健路、山下 晃司、清水 省吾

S1-07 Two-fingers method アシストデバイスの開発と評価

山下病院 消化器内科

○松崎 一平

S1-08 早期十二指腸癌に対する内視鏡治療の短期及び長期成績

¹名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学、

²名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部

○二村 侑歩¹、廣瀬 崇²、古川 和宏¹、倉田 祥行¹、福沢 一馬¹、押谷 由衣¹、
川嶋 啓揮¹

シンポジウム 2

「肝胆膵疾患の診断・治療—現状と今後への多面的アプローチ—」

第 2 会場

14:40～16:50

司 会：名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 堀 寧
名古屋大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科 渡辺 伸元

S2-01 高血圧は脂肪性肝疾患を有する方における FIB-4index 高値と関連し、長期経過での FIB-4index 高値進展に寄与する

¹名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院 消化器内科、

²名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学、

³岡崎市医師会公衆衛生センター

○佐藤 椋¹、鈴木 孝典²、和田 恒哉³、松浦 健太郎²、河村 逸外²、藤原 圭²、
大島 忠之³、山田 珠樹³、片岡 洋望²

S2-02 当院における肝細胞癌に対する体幹部定位放射線治療の経験

安城更生病院

○岩田 彩加、竹内 真実子、島崎 隆、星野 哲宏、安部 太智、山田 政伸、
伊藤 創太、森下 昌史、長谷川 一成、林 大樹朗

S2-03 通常解剖症例での胆管カニュレーション困難例に対する回転機能付き乳頭切開用ナイフの有用性

岐阜県総合医療センター 消化器内科

○三田 直樹、山内 和貴、市川 広直、清水 省吾

S2-04 経口胆道鏡下結石破碎における electrohydraulic lithotripsy と laser lithotripsy の比較

愛知医科大学 肝胆膵内科学

○北野 礼奈、井上 匡央、二神 竣、矢野 雅人、北田 智也、坂本 和賢、木本 慧、
荒井 潤、伊藤 清顕

S2-05 悪性胆道閉塞に対する EUS-guided hepaticogastrostomy の至適な方法—antegrade stenting の意義と HGS ステンツ選択—

静岡県立静岡がんセンター 消化器内科（胆膵）

○石渡 裕俊、坂本 拡基、村松 丈児、奥山 隆貴、大場 彬博

S2-06 胆道癌に対する GC + ICI 療法の検討

三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科

○野瀬 賢治、山田 玲子、浦田 美菜子、島田 康彬、田中 隆光、三輪田 哲郎、
中川 勇人

S2-07 ERCP 術後偶発症としての急性胆管炎予防に対する自己脱落型胆管ステントの有用性に関する検討

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

○武仲 祐弥、宮部 勝之、岡本 宜樹、大見 みなみ、有賀 亮太、加藤 大介、
宮城島 俊、塚本 宏延、山田 智則、林 克巳

S2-08 超早期膵癌診断における新たな CT 間接所見「ILE」の有用性の検討：良性膵管狭窄との比較

¹名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学、

²名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部

○佐々木 雅隆¹、山雄 健太郎¹、石川 卓哉¹、水谷 泰之¹、飯田 忠²、高田 善久¹、
青井 広典¹、熊野 良平¹、加納 佑一¹、川嶋 啓揮¹

S2-09 切除可能膵体尾部癌に対する EUS-TA における穿刺回数低減を目的とした ROSE の有用性

¹伊勢赤十字病院 消化器内科、

²三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科、

³静岡県立総合病院 消化器内科

○村林 桃士¹、山田 玲子²、川口 真矢³、野瀬 賢治²、佐藤 辰宣³

S2-10 1型自己免疫性膵炎に対するステロイドパルス療法の検討

¹名古屋市立大学医学部 消化器・代謝内科学、

²名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院

○安達 明央¹、内藤 格²、富田 優作¹、鬼頭 佑輔¹、豊原 祥資¹、羽根田 賢一¹、
加藤 晃久¹、堀 寧¹、吉田 道弘¹、片岡 洋望¹

S2-11 化学療法施行膵癌患者における AWGC カヘキシア診断基準と予後との関連

岐阜大学医学部附属病院 第一内科

○大橋 洋祐、上村 真也、小泉 拓也、岩田 翔太、丸田 明範、清水 雅仁

S2-12 当院における被曝量低減に向けた取り組み

¹西濃厚生病院 内科、²岐阜大学医学部附属病院 消化器内科、

³滋賀医科大学医学部附属病院 消化器内科

○伊藤 有紀¹、足立 政治¹、長井 宏樹¹、鳥澤 宗一郎¹、千住 明彦¹、丸田 明範²、
岩下 拓司³、清水 雅仁²

S2-13 胆膵内視鏡治療における放射線使用線量60%削減への軌跡：X 線装置設定変更と画像解析装置導入の効果

松波総合病院 消化器内科

○奥野 充、向井 強、片岡 史弥、大橋 瑞貴、神野 宏規、牧野 紘幸、長尾 涼太郎、
中西 孝之、田上 真、荒木 寛司

一般演題 プログラム

お断わり：原則的に講演者が入力したデータをそのまま掲載しておりますので、一部に施設名・演者名・用語等の表記不統一がございます。あらかじめご了承ください。

一 般 演 題

小腸

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 消化器内科 林 則之

01 特発性上腸間膜静脈血栓症 2 例の検討

若手 大垣市民病院 外科

(専攻医) ○白戸 学、高山 祐一、前田 敦行、伊藤 喜介

02 放射線性小腸炎に起因する反復性イレウスの 1 例

¹名古屋大学医学部附属病院 消化器内科、

²名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部

○杉本 友美¹、石川 恵里¹、山村 健史²、前田 啓子¹、澤田 つな騎²、
村手 健太郎¹、大岩 恵祐¹、八田 勇輔¹、平松 美緒¹、高田 直樹¹、
田島 万莉¹、津田 美芽¹、小池 剛¹、皆森 俊²、平岩 厚佑¹、
川嶋 啓揮¹

03 腸閉塞を契機に発見され、診断的治療により改善した腸結核の 1 例

若手 岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃厚生病院 消化器内科

(専攻医) ○朝倉 麻由、水谷 拓、加藤 尚仁、三好 晃長、白鞘 愛、歌方 有貴、
平下 祐生、伊藤 貴嗣、手塚 隆一、向井 美鈴、華井 頼子、山中 一輝、
白木 亮、戸田 勝久、勝村 直樹

04 蛋白漏出性胃腸症を呈した原発性小腸癌の 1 例

名古屋大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科

○宮崎 麻衣、佐藤 雄介、服部 憲史、梅田 晋一、小倉 淳司、村田 悠記、
飯塚 彬光、中西 香企、清水 大、田中 千恵、江畑 智希、神田 光郎

05 内視鏡的に完全切除しえた30mm 大有茎性空腸腫瘍の一例

若手 静岡市立静岡病院 消化器内科

(専攻医) ○浅井 俊輔、小柳津 竜樹、濱村 啓介、黒石 健吾、長谷川 力也、
鈴木 博貴、木村 領佑、早川 諒祐、菊池 恵介、川口 大貴、横山 翔平

06 高度貧血の原因となった胃平滑筋腫の一例

若手 西濃厚生病院 消化器内科

(専攻医) ○瀬川 高輝、千住 明彦、足立 政治、鳥澤 宗一郎、長井 宏樹、伊藤 有紀、
松浦 加奈、馬場 厚、中村 博式、島崎 信、西脇 伸二

07 粘膜下腫瘍様の発育形式を呈した胃粘液癌の1例

若手 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

(専攻医) ○井口 一希、藤吉 俊尚、佐藤 萌、服部 陽介、高木 大貴、山口 大也、
石川 達人、佐久間 智大、野村 真希、市川 毅留、原 啓文、川瀬 祐、
吉岡 直輝、鷺見 肇、土居崎 正雄、川部 直人、山口 丈夫

08 胃底腺型腺癌 (GA-FG) と胃底腺粘膜型腺癌 (GA-FGM) が同時多発した2例

若手 聖隷浜松病院

(専攻医) ○杉谷 魁、芳澤 社、荒井 祐人、高橋 嘉那太、高柳 利啓、森 孝平、
豊田 健介、金谷 和哉、井田 郁美、遠藤 茜、甲田 恵、志田 麻子、
山田 洋介、木次 健介、海野 修平、小林 陽介、木全 政晴、室久 剛、
細田 佳佐

09 孤立性胃静脈瘤上の早期胃癌に対し BRTO 後に ESD を施行した一例

若手 一宮市立市民病院

(研修医) ○森田 祥立、側島 友、関 紗那、畑中 景、中藪 啓史、伊藤 祐三郎、
吉川 幸愛、松浦 倫三郎、平松 武、金森 信一

10 胃 ESD 後凝固症候群 (PECS) の1例

若手 ¹藤田医科大学病院 臨床研修センター、

(研修医) ²藤田医科大学 消化器内科学

○蟹江 太郎^{1,2}、船坂 好平²、堀口 徳之²、丸川 高弘²、山田 日向²、
鎌野 俊彰²、平山 裕²、村島 健太郎²、和田 悠良²、有賀 美月²、
小林 真理子²、杉山 聖²、長坂 光夫²、大野 栄三郎²、葛谷 貞二²、
宮原 良二²、廣岡 芳樹²

- 11 CLDN18陽性の胃癌食道浸潤に対して mFOLFOX+ ゴルベツキシマブが奏功した一例

高山赤十字病院 消化器内科

○白子 順子、田端 みずほ、久保 大樹、川出 真史、小出 香里、前田 俊英、
今井 奨、松下 知路、浮田 雅人

- 12 AFP 産生を伴う癌肉腫の一例

若手 静岡市立静岡病院 消化器内科

(専攻医) ○中村 尚史、小柳津 竜樹、濱村 啓介、黒石 健吾、長谷川 力也、鈴木 博貴、
木村 領佑、早川 諒祐、菊池 恵介、川口 大貴、横山 翔平

- 13 診断に難渋した EBV 関連胃 diffuse large B-cell lymphoma の一例

若手 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

(専攻医) ○古川 省三、塚本 宏延、宮部 勝之、山田 由佳、渡邊 真鈴、内田 美奈、
大見 みなみ、岡本 宜樹、有賀 亮太、加藤 大介、武仲 祐弥、宮城島 俊、
山田 智則、林 克巳

- 14 術前生検で腺癌と診断された十二指腸乳頭部 NET (G3) の 1 例

若手 三重大学 肝胆脾・移植外科

(専攻医) ○林 佳澄、村田 泰洋、留奥 賢、瀬木 祐樹、小松原 春菜、伊藤 貴洋、
早崎 碧泉、堯天 一亨、藤井 武宏、飯澤 祐介、種村 彰洋、栗山 直久、
岸和田 昌之、水野 修吾

- 15 Segmental Arterial Mediolysis (SAM) による前下脘十二指腸動脈瘤破裂後の後腹膜血腫により十二指腸狭窄を来した 1 例

若手 JA 愛知厚生連 海南病院

(専攻医) ○伊藤 福之助、橋詰 清孝、渡邊 一正、國井 伸、石川 大介、菅井 章達、
尾関 良太、喜畑 文登、渡邊 万佑子、奥村 明彦

16 高齢大型肝細胞癌を根治的治療できた一例

若手 静岡市立静岡病院 消化器内科

(専攻医) ○小林 祐紀、関谷 幸佑、横山 翔平、川口 大貴、菊池 恵助、早川 諒祐、
木村 領佑、鈴木 博貴、長谷川 力也、黒石 健吾、濱村 啓介、
小柳津 竜樹

17 高度門脈腫瘍浸潤を伴う肝細胞癌に対し Durvalumab+Tremelimumab 療法が著効したが有害事象のマネジメントに苦慮した 2 例

若手 豊橋市民病院 消化器内科

(専攻医) ○笹屋 京介、山本 崇文、内藤 岳人、山田 雅弘、山本 英子、鈴木 博貴、
飛田 恵美子、新田 紘一郎、社本 賢昭、松原 浩

18 切除不能肝細胞癌において非睥島細胞腫瘍性低血糖症 (NICTH) と診断し得た 2 例

若手 ¹名古屋市立大学病院 総合臨床研修センター、

(専攻医) ²名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学

○大川 紗衣璃¹、鈴木 孝典²、河村 逸外²、松浦 健太郎²、藤原 圭²、
片岡 洋望²

19 乳癌肝転移に対する化学療法中に偽性肝硬変を来した一例

名古屋セントラル病院 消化器内科

○大西 拓海、山口 皓史、中川 貴之、吉村 透、安藤 伸浩、川島 靖浩

20 長期間経過観察後に急速に増大した肝原発癌肉腫の 1 例

¹島田市立総合医療センター 消化器内科、²島田市立総合医療センター 病理診断科

○榛葉 俊太郎¹、大瀧 光¹、小林 優介¹、北川 美織¹、長木 紗矢果¹、
井口 太郎¹、石橋 浩平¹、渡邊 晋也¹、松下 雅広¹、橘 充弘²

肝2

名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学 河村 逸外

21 急性肝不全により死亡したセファランチンによる薬物性肝障害の一例

若手 ¹愛知医科大学病院 卒後臨床研修センター、²愛知医科大学病院 肝胆膵内科
(研修医) ○二宮 もえ¹、坂本 和賢²、荒井 潤²、井上 匡央²、北野 礼奈²、木本 慧²、
北田 智也²、矢野 雅人²、二神 竣²、伊藤 清顕²

22 急性肝炎後に再生不良性貧血を発症した一例

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科

○松田 宜賢、石津 洋二、松本 悠平、佐原 和規、鈴木 貴也、山本 健太、
横山 晋也、伊藤 隆徳、今井 則博、本多 隆、川嶋 啓揮

23 食道静脈瘤を伴う肝サルコイドーシスの1例

¹名古屋大学医学部医学科、²名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学

○伊東 詩恵奈¹、山本 健太²、佐原 和規²、松本 悠平²、鈴木 貴也²、
松田 宜賢²、水野 和幸²、横山 晋也²、伊藤 隆徳²、今井 則博²、
石津 洋二²、本多 隆²、川嶋 啓揮²

24 魚骨が原因で肝膿瘍に至った一例

若手 春日井市民病院 研修管理室
(研修医) ○塚原 啓太、小林 由花、高田 博樹

25 感染性肝嚢胞に対して lumen-apposing metal stent を用いた EUS 下ドレナージが有効であった1例

若手 愛知医科大学 肝胆膵内科
(専攻医) ○二神 竣、井上 匡央、矢野 雅人、北田 智也、北野 礼奈、坂本 和賢、
木本 慧、荒井 潤、伊藤 清顕

胆 1

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 消化器内科 神野 成臣

26 巨大肝嚢胞の腹腔内穿破後に肝嚢胞気管支瘻を認めた1例

若手 岐阜市民病院 消化器内科

(専攻医) ○野中 晴斗、郷 直樹、永井 綺、沼口 宜史、河邊 昌平、小野 由季、
黒田 英孝、犬飼 将旭、村瀬 博幸、岩佐 悠平、河内 隆宏、小木曾 富生、
岩田 圭介、林 秀樹、西垣 洋一、杉山 昭彦

27 内視鏡的乳頭大口径バルーン拡張術（EPLBD）後の後上脘十二指腸動脈瘤出血に 対し経カテーテル動脈塞栓術を行った一例

若手 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 消化器内科

(専攻医) ○二宮 多栄、林 大樹朗、星野 哲宏、島崎 隆、牧野 良祐、山田 政伸、
安部 太智、森下 昌史、伊藤 創太、岩田 彩加、長谷川 一成、
竹内 真実子

28 S状結腸癌に対するペバシズマブ併用化学療法中に発症した胆嚢穿孔に内視鏡的胆 道ドレナージを行い化学療法を継続し得た1例

若手 岐阜県立多治見病院 消化器内科

(研修医) ○佐々木 秀崇、加地 謙太、内田 智之、大久保 賢宗、岩瀬 泰英、
足立 圭司、中畠 大樹、佐々木 謙、濱田 祐輔、丹羽 佑介、山田 直晃、
岡山 幸平、蓑輪 彬久、福定 繁紀、水島 隆史、奥村 文浩

29 大腸癌胆管転移により閉塞性黄疸をきたした1例

岐阜県立多治見病院 消化器内科

○蓑輪 彬久、足立 圭司、中畠 大樹、佐々木 謙、濱田 祐輔、山田 直晃、
福定 繁紀、加地 謙太、水島 隆史、奥村 文浩

30 Hot AXIOS System を用いた超音波内視鏡下胆嚢ドレナージ術（EUS-GBD）が有 用であった非切除悪性胆道狭窄の1例

若手 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 消化器内科

(専攻医) ○池田 翼、林 大樹朗、星野 哲宏、島崎 隆、牧野 良祐、山田 政伸、
安部 太智、森下 昌史、伊藤 創太、岩田 彩加、長谷川 一成、
竹内 真実子

31 再燃を繰り返した手術ハイリスク症例の結石性胆嚢炎に対して、超音波内視鏡下胆 嚢ドレナージ（EUS-GBD）が有用であった一例

浜松医療センター 消化器内科

○綿引 萌花、鈴木 安曇、竹内 悠、佐藤 大輝、樋口 友洋、大庭 行正、
谷 伸也、栗山 茂、影山 富士人、金岡 繁

32 免疫チェックポイント阻害薬投与後に発症した irAE 胆管炎の一例

若手 ¹春日井市民病院 研修管理室、²春日井市民病院 消化器内科(研修医) ○稲垣 裕輝¹、山本 涼²、伊藤 伸²、大川 悟史²、竹中 翔也²、加藤 圭²、堀江 純平²、祖父江 雅也²、水野 智之²、山原 絵里花²、小林 由花²、原田 貴仁²、山本 友輝²、水野 裕介²、池内 寛和²、西垣 信宏²、高田 博樹²、祖父江 聡²

33 irAE 肝炎・胆管炎を示唆するステロイド/UDCA 反応性肝胆道障害に潜在した子宮体癌胆管転移の一例

名古屋市立大学病院 肝・膵臓内科

○富田 優作、加藤 晃久、森 俊敬、浦壁 憲司、鬼頭 佑輔、安達 明央、小田 佳世子、豊原 祥資、羽根田 賢一、堀 寧、吉田 道弘

34 胆石性腸閉塞の3例

若手 ¹大垣市民病院 臨床研修センター、²大垣市民病院 外科(研修医) ○新美 湧一郎¹、伊藤 喜介²、高山 祐一²、前田 敦行²

35 画像所見から術前に胆嚢癌を疑い切除しえた胆嚢壁肥厚の1例

若手 ¹磐田市立総合病院 消化器内科、²磐田市立総合病院 消化器外科、(研修医) ³磐田市立総合病院 肝臓内科○平塚 梨那¹、金子 淳一¹、神藤 修²、鈴木 大二郎¹、西澤 航平¹、池田 慎也¹、大津 卓也¹、瀧浪 将貴¹、高橋 百合美³、深澤 貴子²、田村 智¹

36 子宮体癌術後肝転移と鑑別を要した胆嚢扁平上皮癌の1例

若手 愛知医科大学 消化器外科

(研修医) ○本村 理子、大岩 立学、深見 保之、大澤 高陽、安藤 公隆、浅野 瑠水、齋藤 美和、倉橋 岳宏、白井 信太郎、福山 貴大、戸田 瑠子、船津 のぞみ、余語 孝乃助、國友 愛奈、加藤 翔子、上田 翔、篠原 健太郎、松村 卓樹、金子 健一郎、佐野 力

37 術後免疫化学療法が奏効している Vater 乳頭部癌と前立腺癌の重複癌の1例

若手 国立病院機構静岡医療センター

(専攻医) ○金澤 正治、大西 佳文

大腸 1

愛知医科大学病院 消化管内科 山口 純治

- 38 潰瘍性大腸炎に対するグセルクマブの有効性と安全性：当院における実臨床での検討
若手 愛知医科大学病院 消化管内科
(専攻医) ○梶浦 知尚、大西 賢多朗、山口 純治、前田 英貴、藤田 美穂、榊原 裕行、
田代 崇、小野 聡、河村 達哉、佐々木 誠人、中村 正直
- 39 潰瘍性大腸炎における Guselkumab の治療成績
1名古屋大学医学部附属病院 消化器内科、
2名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部
○平岩 厚佑¹、澤田 つな騎²、山村 健史¹、前田 啓子¹、石川 恵里¹、
村手 健太郎¹、大岩 恵祐¹、八田 勇輔¹、平松 美緒¹、高田 直樹¹、
田島 万莉¹、津田 美芽¹、小池 剛¹、皆森 俊²、杉本 友美¹、
川嶋 啓揮¹
- 40 非結核性抗酸菌症に対する抗菌薬治療が関与したと考えられる腸管気腫症の 1 例
若手 一宮市立市民病院
(研修医) ○沢 拓真、側島 友、畑中 景、関 紗那、中藪 啓史、伊藤 祐三郎、
吉川 幸愛、松浦 倫三郎、平松 武、金森 信一
- 41 急性腸炎様に発症し食事により再燃を繰り返した腸管スピロヘータ症の 1 例
若手 名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院 消化器内科
(専攻医) ○山村 文乃、佐藤 棕、鈴木 健人、西江 裕忠、内藤 格
- 42 横行結腸癌を合併した Cronkhite-Canada 症候群の一例
藤田医科大学病院 消化器内科
○和田 悠良、平山 裕、長坂 光夫、鎌野 俊彰、中野 尚子、村島 健太郎、
宮原 良二、船坂 好平、堀口 徳之、大野 栄三郎、葛谷 貞二、廣岡 芳樹
- 43 術前組織診断に難渋した 4 型大腸癌の 4 例
若手 伊勢赤十字病院 消化器内科
(専攻医) ○河野 智大、杉本 真也、沢 恵美加、津田 宜之、奥田 彩子、奥田 裕文、
河俣 真由、中村 はる香、天満 大志、林 智士、村林 桃士、亀井 昭

大腸 2

名古屋大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科 小倉 淳司

- 44 造影剤使用困難例に対して内視鏡と腹部超音波が診断に寄与した腹部アンギーナの 1 例

若手 一宮市立市民病院 消化器内科

(専攻医) ○長谷川 義樹、側島 友、関 紗那、畑中 景、中藪 啓史、伊藤 祐三郎、
吉川 幸愛、松浦 倫三郎、金森 信一、平松 武

- 45 魚骨による S 状結腸尿管瘻に対して保存的治療で治癒した 1 例

若手 大垣市民病院 外科

(専攻医) ○佐藤 玄理、高山 祐一、前田 敦行、伊藤 喜介

- 46 虫垂炎術後の残虫垂開口部に発生した腺腫に対して ANSUR-LECS (腹腔鏡・内視鏡合同手術) 盲腸部分切除術を施行した 1 例

若手 名古屋市立大学病院 消化器・一般外科

(専攻医) ○濱田 健太郎、鈴木 卓弥、澤井 美里、浅井 宏之、加藤 瑛、牛込 創、
山川 雄士、瀧口 修司

- 47 下行結腸癌術後に発症し、診断に苦慮した下腸間膜動静脈瘻の 1 例

¹愛知医科大学 消化器外科、²愛知医科大学 放射線科

○白井 信太郎¹、松村 卓樹¹、國友 愛奈¹、余語 孝乃助¹、戸田 瑤子¹、
齋藤 美和¹、大岩 立学¹、倉橋 岳宏¹、福山 貴大¹、加藤 翔子¹、
安井 講平¹、上田 翔¹、篠原 健太郎¹、大澤 高陽¹、安藤 公隆¹、
深見 保之¹、金子 健一郎¹、佐野 力¹、鈴木 耕次郎²

- 48 術前化学療法 CDDP + CPT-11により顕著に縮小し、conversion surgery しえた直腸神経内分泌癌の一例

若手 ¹名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 消化器内科、

(専攻医) ²名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 消化器外科

○森島 陽¹、野村 朗弘¹、橋本 真耶佳¹、服部 智子¹、中井 俊介¹、
今津 充季¹、北川 美香¹、近藤 啓¹、森 義徳¹、土田 研司¹、齋藤 正樹²、
高橋 広城²

49 内視鏡的止血術を要した急性壊死性食道炎の一例

名古屋セントラル病院 消化器内科

○山本 竜太郎、大西 拓海、山口 皓史、中川 貴之、吉村 透、安藤 伸浩、
川島 靖浩

50 食道切除術後の胃管排泄遅延における重症度分類と臨床的特徴および短期成績の検討
若手

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科・小児外科

(専攻医) ○外村 俊平、佐藤 悠太、畑中 勇治、田中 善宏、深田 真宏、浅井 竜一、
安福 至、田島ジェシー 雄、松橋 延壽

51 頸腹同時アプローチによるロボット支援縦隔鏡下食道拔去術の工夫：難治性食道肺
瘻の症例から

若手 名古屋市立大学病院 消化器・一般外科

(専攻医) ○島田 雄太、早川 俊輔、小川 了、佐川 弘之、林 祥平、佐藤 怜央、
伊藤 直、藤田 康平、辻 恵理、山本 真太郎、佐藤 崇文、山川 雄士、
瀧口 修司

52 発症前後の内視鏡像を評価し得たクローンカイト・カナダ症候群の一例

若手 藤枝市立総合病院 消化器内科

(研修医) ○住吉 郁哉、星野 弘典、丸山 保彦、吉井 重人、景岡 正信、大畠 昭彦、
寺井 智宏、山田 健太、草間 大輔、山田 久修、丸山 巧、杉本 祥拓

53 術後に門脈血栓を発症した脾臓原発血管肉腫の1例

若手 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 消化器外科

(研修医) ○宇藤 有汰、社本 智也、佐藤 菜生、藤本 風花、重森 春花、桐原 遥河、
中島 亮、高阪 重行、原田 真之資、渡部 かをり、志賀 一慶、田中 達也、
松尾 洋一

膝 1

独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院 消化器内科 佐橋 秀典

54 アルコール性慢性膵炎に縦隔膿瘍を発症した1例

藤枝市立総合病院 消化器内科

○大畠 昭彦、吉井 重人、景岡 正信、寺井 智宏、星野 弘典、山田 健太、
草間 大輔、山田 久修、丸山 巧、杉本 祥拓、丸山 保彦

55 再建腸管例に発症した膵性胸水に対しダブルバルーン ERCP による膵管ステント留置が有効であった1例

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科

○堤 克彦、石川 卓哉、山雄 健太郎、水谷 泰之、飯田 忠、高田 善久、
青井 広典、熊野 良平、川嶋 啓揮

56 腰椎固定術後の重症急性膵炎、感染性被包化膵壊死に対して超音波内視鏡下経消化管ドレナージで治療をした1例

若手 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

(専攻医) ○岩瀬 泰英、宮部 勝之、渡邊 真鈴、内田 美奈、岡本 宜樹、大見 みなみ、
有賀 亮太、加藤 大介、武仲 祐弥、宮城島 俊、塚本 宏延、山田 智則、
林 克己

57 2型自己免疫性膵炎の1例

若手 ¹名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 消化器内科、

(研修医) ²名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院 消化器内科、

³倉敷中央病院 病理診断科

○高細 旭¹、神谷 昌宏¹、金子 智文¹、児玉 明里¹、藤井 裕孝¹、
高木 優輔¹、田村 洋樹¹、横井 佑典¹、猪飼 千咲¹、中川 真里絵¹、
庄田 怜加¹、荒木 幸子¹、神野 成臣¹、林 則之¹、小島 尚代¹、伊藤 恵介¹、
内藤 格²、能登原 憲司³、林 香月¹

58 EUS-FNA で診断しえた膵原発 MALT リンパ腫の一例

¹大垣市民病院 消化器内科、²大垣市民病院 血液内科

○石川 大貴¹、片岡 邦夫¹、新美 圭子²、竹田 堯¹、安田 諭¹、北畠 秀介¹、
久永 康宏¹、豊田 秀徳¹

59 EUS-FNA で診断しえた膵退形成癌の2例

若手 大垣市民病院 消化器内科

(研修医) ○河上 允、片岡 邦夫、竹田 堯、安田 諭、北畠 秀介、久永 康弘、
豊田 秀徳

60 診断に苦慮した可動性を有する膝粘液性嚢胞性腫瘍の一例

若手 名古屋鉄道健康保険組合名鉄病院 消化器内科
(専攻医) ○大谷 有輝、西尾 雄司、岡田 永遠、辰巳 茉莉、田中 悠、井手 彩、
山本 佳奈、濱崎 元伸、大林 友彦、竹田 欽一

61 膝性脂肪織炎を合併し急速な転帰を辿った胆膝型 IPMC の一例

若手 ¹浜松医科大学 内科学第一講座、²浜松医科大学医学部附属病院 光学医療診療部、
(研修医) ³浜松医科大学医学部附属病院 検査部、⁴浜松医科大学 地域連携先端医療学講座
○平野 杏奈¹、乾 航¹、丹羽 智之¹、稲垣 圭佑¹、江上 貴俊¹、高橋 賢一¹、
伊藤 達弘¹、高橋 悟¹、浅井 雄介¹、尾上 峻也¹、石田 夏樹¹、
山出 美穂子¹、濱屋 寧¹、山田 貴教²、岩泉 守哉³、大澤 恵⁴、
杉本 健¹

62 主膝管拡張を伴い IPMN と鑑別が困難だった自己免疫性膝炎の一例

若手 ¹浜松医科大学 外科学第二講座、
(専攻医) ²浜松医科大学 周術期等生活機能支援学講座
○小寺 伶奈¹、森田 剛文¹、西脇 大貴¹、松本 旭生¹、大林 未来¹、
清水 雄嗣¹、古橋 暁¹、武田 真¹、菊池 寛利¹、平松 良浩^{1,2}、
竹内 裕也¹

63 若年女性の膝粘液性嚢胞腫瘍切迫破裂の1例

若手 ¹磐田市立総合病院 消化器内科、²磐田市立総合病院 消化器外科、
(研修医) ³磐田市立総合病院 肝臓内科
○小原 弘大¹、金子 淳一¹、神藤 修¹、鈴木 大二郎²、西澤 航平¹、
池田 慎也¹、大津 卓也¹、瀧浪 将貴¹、高橋 百合美³、深澤 貴子²、
田村 智¹

64 膝癌に対する化学療法中に発症したゲムシタビン関連血栓性微小血管障害の1例

若手 ¹社会医療法人宏潤会 大同病院 消化器内科、
(専攻医) ²社会医療法人宏潤会 大同病院 腫瘍内科
○長沼 龍青¹、西川 貴広¹、齋藤 和輝¹、吉田 和弘¹、柴田 萌¹、黒部 拓也¹、
名倉 明日香¹、野々垣 浩二¹、高山 歳三²

65 手術不能な膝頭部癌に対して conversion 手術を行った一例

若手 春日井市民病院 内科
(専攻医) ○武井 嶺、山本 友輝、祖父江 聡、高田 博樹、西垣 信宏、池内 寛和、
水野 裕介、小林 由花、原田 貴仁、山本 涼、山原 絵里花、祖父江 雅也、
水野 智之、加藤 圭、堀江 純平